

石川労働局発表
平成30年6月29日(金)

報道関係者 各位

【照会先】

石川労働局雇用環境・均等室
雇用環境改善・均等推進監理官 平山和彦
労働紛争調整官 坂本雅治
電 話 076(265)4429

「いじめ・嫌がらせ」「自己都合退職」相談が6年連続で上位に
平成29年度 個別労働紛争解決制度の施行状況を公表します

石川労働局(局長 松竹泰男)は、このたび、平成29年度の「個別労働紛争解決制度」の施行状況をまとめましたので公表します。

【概況】

総合労働相談件数(※1)	8,570件(前年度比 約11.8%減)
民事上の個別労働関係紛争の相談件数(※2)(上記内数)	2,376件(同 約21.6%減)
労働局長の助言・指導の受付件数(※3)	135件(同 約9.8%増)
あっせん申請の受理件数(※4)	44件(同 約29.4%増)

- ◆総合労働相談件数、民事上の個別労働関係紛争の相談件数は、前年度と比べ減少し、労働局長の助言・指導の受付件数、あっせん申請の受理件数は増加している。
- ◆民事上の個別労働関係紛争では、「いじめ・嫌がらせ」に関する紛争(職場のパワーハラスメントに関するものを含む)、「自己都合退職」に関する紛争の相談件数が6年連続で上位を占めている。

※1「総合労働相談」：法令・制度の間合せ、行政指導等の対象となるべき法違反等の内容に加え、民事上の個別労働関係紛争に係る相談を含む労働に関するあらゆる相談。平成28年度から都道府県労働局の組織見直しにより「雇用環境・均等室」が設置され、これまで「雇用均等室」で対応していた男女雇用機会均等法等に関しても一体的に労働相談として対応することとなったため、それらの相談件数も計上されている。

※2「民事上の個別労働関係紛争」：労働者個人と企業との間の民事的内容に関する紛争。

※3「労働局長の助言・指導」：民事上の個別労働関係紛争について、都道府県労働局長が、紛争当事者に対して解決の方向を示すことにより、紛争当事者の自主的な解決を促進する制度。

※4「あっせん」：紛争当事者の間に公平・中立な第三者として労働問題の専門家が入り、双方の主張の要点を確かめ、双方から求められた場合には両者がとるべき具体的なあっせん案を提示するなど、紛争当事者間の調整を行い、話し合いを促進することにより、紛争の解決を図る制度。

平成 29 年度個別労働紛争解決制度施行状況

(1) 相談受付状況

- ・総合労働相談件数は前年度より減少したものの依然高水準で推移しており、民事上の個別労働紛争相談件数は前年度から一転減少に転じたものの、ここ 10 年のスパンで見ると横ばい状態である (図 1)。
- ・民事上の個別労働関係紛争に関する相談を、相談内容ごとに見ると、「いじめ・嫌がらせ」に関する相談が 858 件 (26.2%)、次いで「退職を申し出たが辞めさせてもらえない」など「自己都合退職」に関する相談が 475 件 (14.5%)、「解雇」に関する相談が 324 件 (9.9%) と続いている。
また、「いじめ・嫌がらせ」に関する相談は平成 24 年度以降 6 年連続で最多となり、「自己都合退職」に関する相談も平成 25 年度以降 5 年連続 2 番目に多い相談内容となった。(図 2、3)

(2) 石川労働局長の助言・指導

- ・平成 29 年度の申出件数は増加に転じた (図 4)。
- ・申出内容別では、「いじめ・嫌がらせ」が最多の 33 件 (24.4%)、次いで「自己都合退職」が 20 件 (14.8%) となっている。
- ・助言・指導を実施した結果、59.1%が解決している (図 5)。

(3) 石川紛争調整委員会によるあっせん

- ・申請受理の内容別では、「解雇」が最多の 10 件 (22.7%)、次いで「いじめ・嫌がらせ」が 9 件 (20.4%) の順となっている。
- ・平成 29 年度に処理が終了したあっせんにおける合意率は 47.4%であった (図 6)。

【個別労働紛争解決制度】

企業組織の再編や人事労務管理の個別化等に伴う労働関係に関する事項についての個々の労働者と事業主との間の紛争（個別労働関係紛争）の増加に対応するため、「個別労働関係紛争の解決の促進に関する法律」が平成 13 年 10 月 1 日に施行され、同法に基づく個別労働関係紛争解決制度もその運用開始後 16 年を経過し、ADR（裁判外紛争解決手続き）として広く定着している。

平成29年度個別労働紛争解決制度の施行状況

石川労働局

図1 総合労働相談件数、民事上の個別労働紛争相談件数の推移

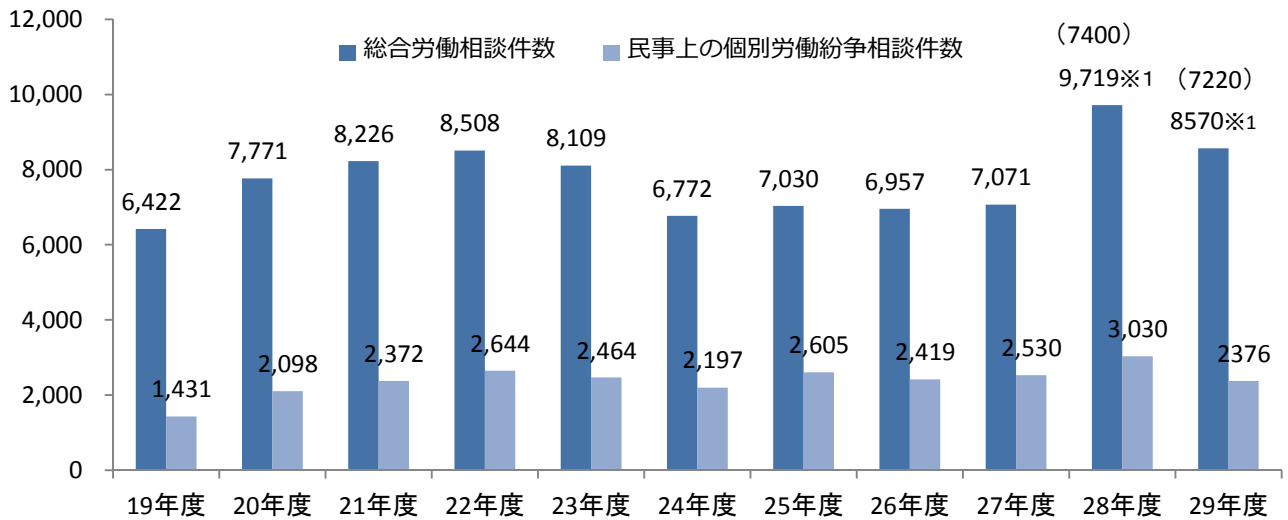


図2 民事上の個別労働紛争 | 相談内容別の件数

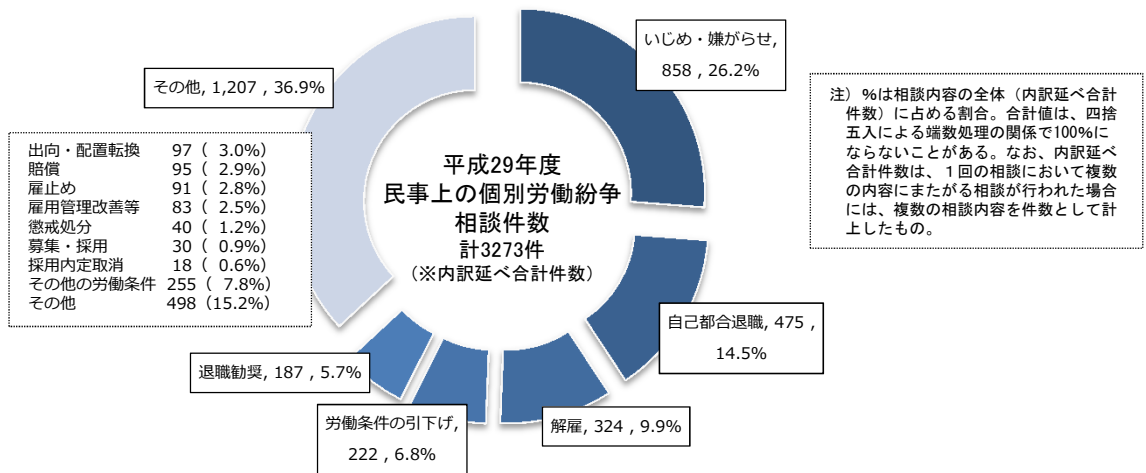


図3 民事上の個別労働紛争 | 主な相談内容別の件数推移

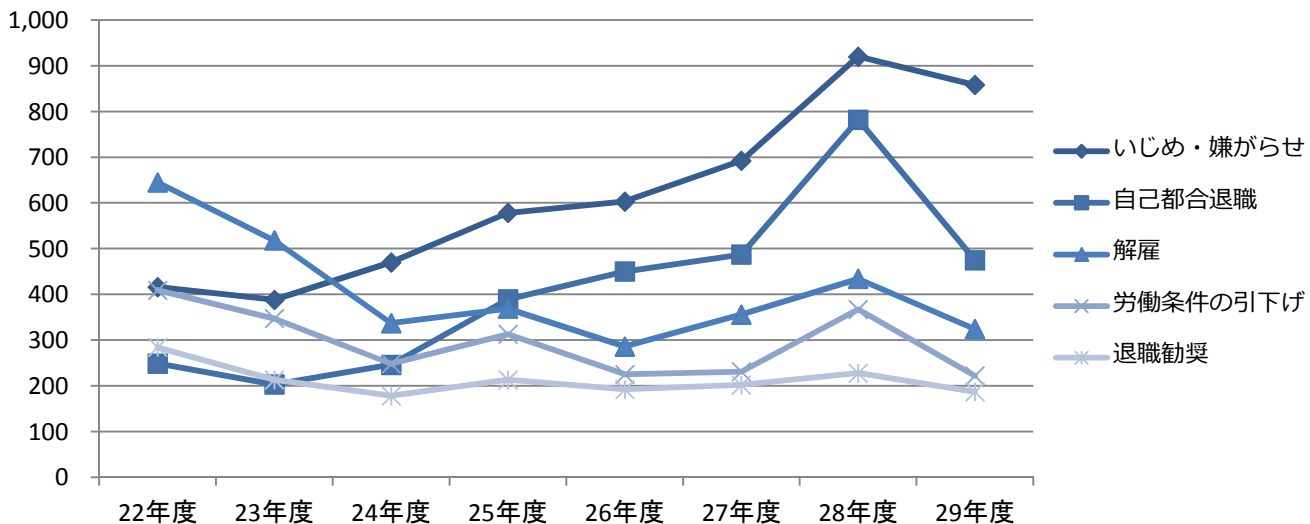


図4 助言・指導申出受付件数、あっせん申請受理件数の推移

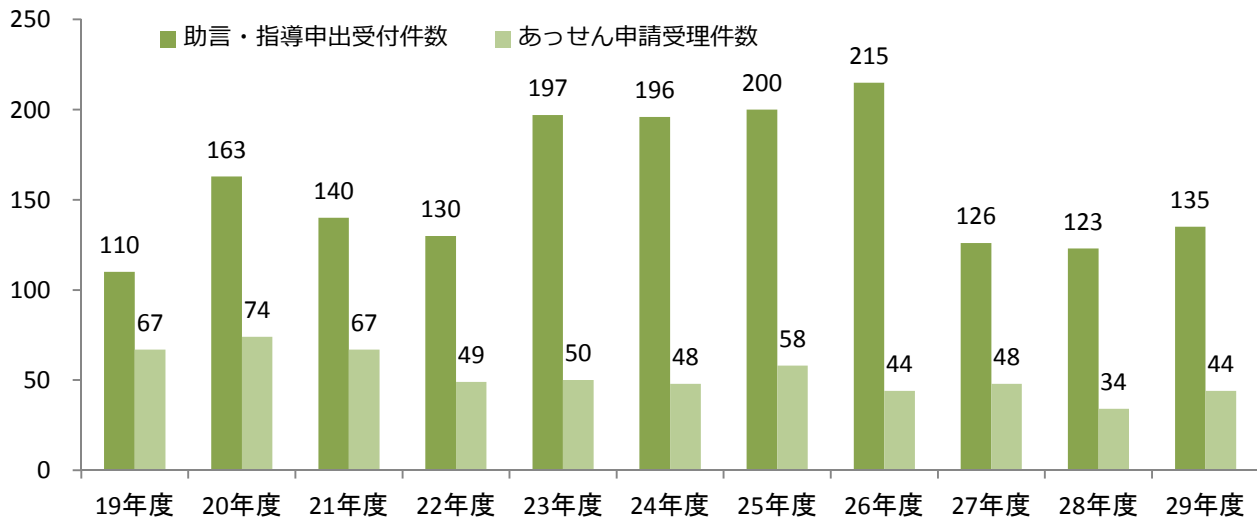


図5 助言・指導終了結果

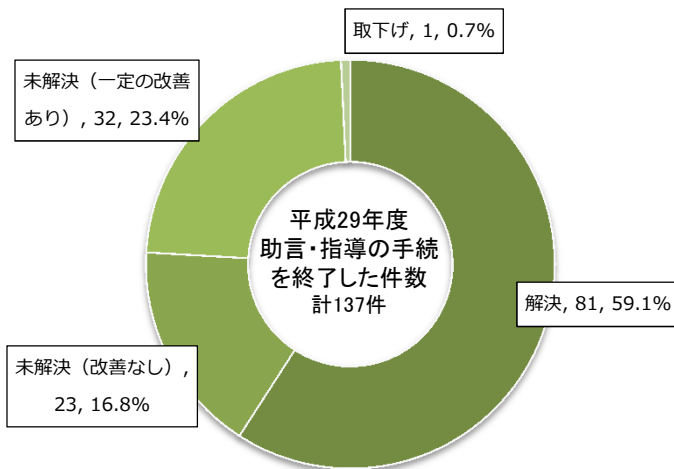
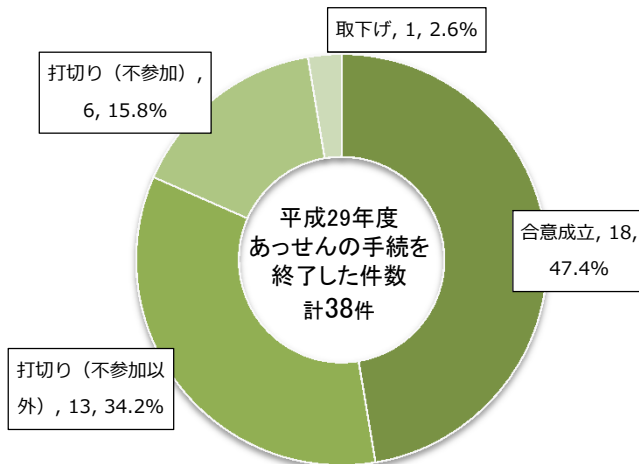


図6 あっせん終了結果



石川労働局における個別労働紛争解決制度の施行状況について

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1. 総合労働相談コーナーに寄せられた相談件数	8,570 件	(28年度 9,719) (27年度 7,071)
相談者の種類		
労働者	4,984 件	事業主 1,825 件
(28年度 6,165) (27年度 4,541)		その他 1,761 件 (28年度 1,671) (27年度 1,185)
2. 民事上の個別労働関係紛争に係る相談の件数	2,376 件	(28年度 3,030) (27年度 2,530)
① 相談者の種類		
労働者	1,969 件	事業主 166 件
(28年度 2,545) (27年度 2,051)		その他 241 件 (28年度 290) (27年度 282)
② 労働者の就労状況		
正社員	857 件	パート・アルバイト 358 件
(28年度 1,204) (27年度 927)		派遣労働者 132 件 (28年度 148) (27年度 133)
期間契約社員	216 件	その他 813 件
(28年度 251) (27年度 151)		(28年度 1,035) (27年度 934)
③ 紛争の内容 (※ 紛争内容が複数にまたがる事案もあるため、合計は一致しない。)		
普通解雇	242 件	整理解雇 26 件
(28年度 357) (27年度 273)		懲戒解雇 56 件 (28年度 55) (27年度 53)
労働条件の引下げ	222 件	退職勧奨 187 件
(28年度 367) (27年度 231)		出向・配置転換 97 件 (28年度 155) (27年度 129)
採用内定取消	18 件	雇止め 91 件
(28年度 45) (27年度 15)		自己都合退職 475 件 (28年度 782) (27年度 487)
その他の労働条件	255 件	募集・採用 30 件
(28年度 320) (27年度 267)		雇用管理改善等 83 件 (28年度 155) (27年度 91)
いじめ・嫌がらせ	858 件	賠償 95 件
(28年度 920) (27年度 692)		その他 538 件 (28年度 516) (27年度 354)

3. 都道府県労働局長による助言・指導の件数

(1) 助言・指導の申出の受付を行った件数 **135 件** (28年度 123)
(27年度 126)

① 労働者の就労状況

正社員	70 件	パート・アルバイト	31 件	派遣労働者	16 件
(28年度)	76)	(28年度)	30)	(28年度)	10)
(27年度)	59)	(27年度)	35)	(27年度)	8)
期間契約社員	15 件	その他	3 件		
(28年度)	6)	(28年度)	1)		
(27年度)	13)	(27年度)	11)		

② 紛争の内容 (※ 紛争内容が複数にまたがる事案もあるため、合計は一致しない。)

普通解雇	8 件	整理解雇	0 件	懲戒解雇	3 件
(28年度)	11)	(28年度)	1)	(28年度)	1)
(27年度)	20)	(27年度)	0)	(27年度)	0)
労働条件の引下げ	7 件	退職勧奨	10 件	出向・配置転換	4 件
(28年度)	10)	(28年度)	1)	(28年度)	6)
(27年度)	13)	(27年度)	7)	(27年度)	9)
採用内定取消	1 件	雇止め	4 件	自己都合退職	20 件
(28年度)	0)	(28年度)	15)	(28年度)	15)
(27年度)	0)	(27年度)	10)	(27年度)	13)
その他の労働条件	21 件	募集・採用	2 件	雇用管理改善等	12 件
(28年度)	11)	(28年度)	1)	(28年度)	6)
(27年度)	19)	(27年度)	2)	(27年度)	10)
いじめ・嫌がらせ	33 件	賠償	4 件	その他	17 件
(28年度)	31)	(28年度)	5)	(28年度)	12)
(27年度)	19)	(27年度)	6)	(27年度)	14)

(2) 助言・指導の手続を終了した件数 **137 件** (28年度 122)
(27年度 132)

終了の区分

助言を実施	136 件	指導を実施	0 件		
(28年度)	121)	(28年度)	0)		
(27年度)	128)	(27年度)	0)		
取下げ	1 件	打切り	0 件	その他	0 件
(28年度)	1)	(28年度)	0)	(28年度)	0)
(27年度)	2)	(27年度)	1)	(27年度)	1)

4. 紛争調整委員会によるあっせんの件数

(1) あっせんの申請の受理を行った件数 44 件 (28年度 34)
(27年度 48)

① 労働者の就労状況

正社員	22 件	パート・アルバイト	6 件	派遣労働者	3 件
(28年度)	20)	(28年度)	1)	(28年度)	3)
(27年度)	19)	(27年度)	12)	(27年度)	5)
期間契約社員	10 件	その他	3 件		
(28年度)	7)	(28年度)	3)		
(27年度)	6)	(27年度)	6)		

② 紛争の内容 (※ 紛争内容が複数にまたがる事案もあるため、合計は一致しない。)

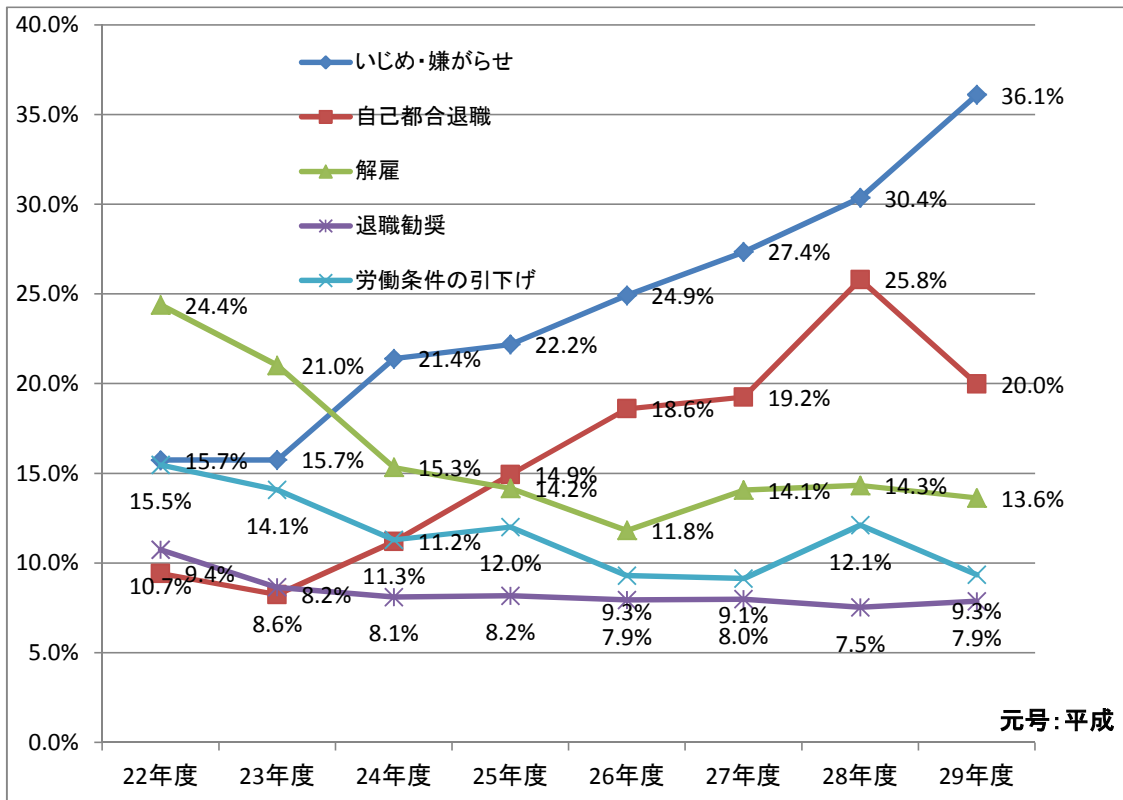
普通解雇	7 件	整理解雇	2 件	懲戒解雇	1 件
(28年度)	3)	(28年度)	3)	(28年度)	0)
(27年度)	12)	(27年度)	4)	(27年度)	2)
労働条件の引下げ	0 件	退職勧奨	2 件	出向・配置転換	0 件
(28年度)	2)	(28年度)	0)	(28年度)	3)
(27年度)	1)	(27年度)	2)	(27年度)	1)
採用内定取消	3 件	雇止め	6 件	自己都合退職	0 件
(28年度)	3)	(28年度)	3)	(28年度)	0)
(27年度)	1)	(27年度)	3)	(27年度)	1)
その他の労働条件	2 件	雇用管理改善等	4 件	いじめ・嫌がらせ	9 件
(28年度)	7)	(28年度)	1)	(28年度)	11)
(27年度)	6)	(27年度)	2)	(27年度)	14)
賠償	5 件	その他	3 件		
(28年度)	0)	(28年度)	0)		
(23年度)	2)	(27年度)	3)		

(2) あっせんの手続を終了した件数 38 件 (28年度 36)
(27年度 51)

終了の区分

当事者間の合意の成立	18 件				
(28年度)	14)				
(27年度)	24)				
取下げ	1 件	打切り	19 件	その他	0 件
(28年度)	0)	(28年度)	20)	(28年度)	2)
(27年度)	1)	(27年度)	26)	(27年度)	0)

民事上の個別労働紛争相談に対する主要相談内容が占める割合の推移



民事上の個別労働紛争に係る相談等の事例

1 いじめ・嫌がらせに関する相談事例

- 怒鳴られたり、肩を突き飛ばされたり、椅子を蹴り飛ばされたりした。
- 死んでしまえ、お前はいらぬなどと恫喝された。
- 宴会に遅刻したところ、社員全員の前で土下座させられ、ビールを何杯も一気飲みさせられた。

2 自己都合退職に関する相談事例

- 次の人がおらず、仕事が集中しているのでとの理由で退職を認められない。
- 退職願を提出したが、会社が退職を承認してくれず、退職できない。

3 石川労働局長による助言・指導事例(懲戒解雇事案)

事業主が休日出勤に応じない労働者に対して懲戒解雇を言い渡した事案について、懲戒解雇理由として十分と言えないのではないかと伝え、再考及び話し合いによる解決を助言したところ、最終的に、事業主が懲戒解雇ではなく普通解雇として処理することし解決した。

4 石川紛争調整委員会によるあっせん事例(雇止め事案)

上司からパワーハラスメントと思われる言動を受け、さらに、曖昧な理由の下で現在の有期契約満了後における雇止め予告を受けたことについて、長期にわたって受けた精神的苦痛に対する慰謝料の支払を求めたところ、あっせん委員の調整の結果、解決金●●万円を支払うことで当事者が合意した。